

1. 建物概要

建物名称	シティライフ浜松ザ・フロンティア	BEE	0.7	BEEランク	B-	★★
------	------------------	-----	-----	--------	----	----

2. 重点項目への取り組み度

重点項目	得点 [*] /満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.8	/5	がんばろう 
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.3	/5	ふつう 
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	1.5	/5	がんばろう 
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.0	/5	がんばろう 
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上 
			ふつう 3 点以上 
			がんばろう 3 点未満 

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目		
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点	2.8	
 ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①住宅性能評価 省エネルギー等級3 取得予定 ③庇・カーテンによりグレアを制御 ④外壁 タイル貼(一部吹付タイル) ④居室内装仕上 クロス貼 更新必要間隔約20年 ④配管材料 硬質塩化ビニル管等を使用し耐久性の優れたものとし、耐用年数の比較的に長いものを使用 更新必要間隔約20～30年 ④主要設備機器 更新必要間隔8～20年	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能 Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 昼光利用設備 3.2 3.2.1 ③ 昼光制御 Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数 2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔			
	Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上			
	LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 2 ⑧ 自然エネルギー利用 3 ⑨ 設備システムの高効率化 4 4.1 ⑩ モニタリング 4.2 ⑩ 運用管理体制			
	LR-2 1 1.1 ⑪ 節水 1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 1.2.2 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 2 2.1 2.1.1 ⑫ 材料使用量の削減 2.1.2 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 2.1.3 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.1.4 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.1.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 2.1.6 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み 3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 3.2 3.2.1 ⑬ 消火剤 3.2.2 ⑬ 断熱材 3.2.3 ⑬ 冷媒			
	LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善			
	“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)		得点	3.3
	 ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯静岡県等の基準を満たした耐震性 住宅性能評価 耐震等級2 ⑰節水機器・節水便器の採用	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性 2.1.2 ⑯ 免震・制振性能 2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備 2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備 2.4.3 ⑰ 電気設備 2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法 2.4.5 ⑰ 通信・情報設備		
	“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点	1.5
	 ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑱静岡県福祉のまちづくり条例の基準に準拠 階高3.01m ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) ㉑防犯カメラ設置	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱ ⑲ ユニバーサルデザイン計画 3 3.1 3.1.1 ⑲ 階高のゆとり 3.1.2 ⑲ 空間の形状・自由さ		
Q-3 3 3.1 ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上				
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点	2.0	
 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ㉒⑥敷地内を芝生・低木・中高木により緑化 ■敷地外環境対策 (⑮温熱環境悪化の改善) ⑮敷地内を緑化に努め芝生・低木等により被覆	Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 2 ② ② まちなみ景観への配慮 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上			
	LR-3 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善			